

知識・技術共有のためのチェックリスト

施設内の知識・技術共有度 計算例

施設名：
部・科名：臨床検査科
セクション：緊急検査
領域：

実習対象者：
実習期間：
実習指導責任者：

【一般目標(GIO:General Instructional Objectives)】

緊急検査について宿日直当番の業務を実施できるようにすることを目標とする。
また、緊急検査項目の意義や役割を理解し、臨床的意義や結果の解釈を考察できるようにする。

【到達目標(SBOs:Specific Behavior Objectives)】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	共有率 (%)
	技師①	技師②	技師③	技師④	技師⑤	技師⑥	技師⑦	技師⑧	技師⑨	
1. 受付業務を通し、検体の適切な取り扱いを実施することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0
2. 検体の種類、抗凝固剤の種類、検査項目、保存方法について説明できる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	77.8
3. 検体の受付から結果の報告までの流れを述べるができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0
4. 緊急検査項目に関し、以下の事項をできる。										
a. 各項目の基準値、臨床的意義を述べるができる。又は参照できる。			○		△	○	○	○	○	66.7
b. 各項目のパニック値を列挙できる(緊急検査セット項目は必須)			○		△	○	○	○	○	44.4
c. パニック値発生時の対応を適切にできる。		○	○	○	○	○	○	○	○	88.9
5. 分析装置[H7180]を用いて以下の項目を実施できる。										
a. 試薬の交換・補充(ISE、洗浄液は必須)	○		○			○	△	△		55.6
b. 精度管理データ(QAPTロール)の確認ができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0
c. キャリブレーション(ISE必須)ができる。キャリブレーションの溶解方法、使用期限を理解している。	○	○	○	○	○	○	△	○	○	100.0
d. 検体希釈測定及び再検査が実施できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0
6. 分析装置[STA-R]を用いて以下の項目を実施できる。										
a. 試薬・キュベットの交換・補充		△	○	○		○	○		○	66.7
b. 再検査が実施できる。	○				○	○			○	100.0
7. 分析装置[アーキアクト]を用いて以下の項目を実施できる。										
a. 再検査、判定保留の判断・対応ができる。	○		○		○	○	○		○	66.7
b. 試薬・キュベットの交換・補充			○							22.2
c. オーダー再送信又は、マニュアル依頼ができる。			○				○			33.3
8. 分析装置[XT-1800]を用いて以下の項目を実施できる。										
a. 再検査、判定保留の判断ができる。(検体凝固の可能性を推定できる。)	○	○	○	○	○	○	○		○	88.9
c. 試薬の交換・補充	○	○	○							55.6
9. 緊急検査結果のFAX送信、及びFAXサーバの状態確認、リセットができる。	○	○	○		○	○	○		○	77.8
10. 輸血業務に関し、以下の事項が実施できる。										
a. 輸血業務マニュアルを参照できる。(院内マニュアル及び業務マニュアル)	○	○	○		○	○	○		○	77.8
b. 試薬の交換・補充(オートビュー)			○							33.3
c. 各種製剤の発注、入庫業務		○	○	○	○	○	○		○	77.8
d. 各種製剤の出庫、払出し業務		○	○	○	○	○	○		○	77.8
e. 交差試験の実施(オートビュー)	○	○	○	○	○	○	○		○	88.9
f. 超緊急時の対応ができる			○		△	○	○		○	44.4
g. オートビューのQCが実施できる。	○	○	○	○	○	○	○		○	88.9
11. 髄液一般検査が実施できる。	○	○	○	○	○	○		○		88.9
12. HCG定量検査が実施できる。(マニュアル参照できる。)	○	○	○	○	○	○				88.9
13. 以下の迅速検査キット又は用手法検査ができる。										
[インフルエンザ] [RSウイルス] [ロタウイルス] [A群溶連菌] [HBsAg] [HBsAb] [TPHA]	○	○	○	○	○	○	○			88.9
[HCV Ab] [マイコプラズマ抗体] [尿中乱用薬物定性] [バラート定性] [トロンボテスト] [ヘパプラスチン]	○	○	○	○	○	○	○			88.9
14. グラム染色と結果の判定ができる。(マニュアル参照できる。)		○	○	○	○	○				44.4
15. 便培養の手技が行なえる。		○	○	○	○	○				44.4
16. 細菌検査、細胞診検査の検体処理・保存方法を述べるができる。	○	○	○	○	○	○			○	88.9
17. 宿日直時における検査以外の作業(外来報告書、フロア機器立ち上げ等)ができる。	○	○	○	○	○	○			○	88.9
18. 宿日直記録簿の記入ができる。	○	○	○	○	○	○			○	88.9
19. 緊急連絡網を参照、使用できる。(ハイレベルインシデント発生時の対応を理解している。)		○	○	○	○	○				77.8
20. 宿日直時における問題解決能力・手段を有している。(臨機応変な対応力)		△								33.3
習得 (%)	58	78	97	67	86	92	86	31	72	74.1

項目ごとの共有度
取り組み強化が必要な事項や、
業務内容変更の必要性などが
検討可能。

スタッフ個々の習得度。
具体的にどの部分に取り組みが
必要なのかが客観的な情報とし
て得ることができる。

シート全体の共有度(共有率の平均)
科内全体の共有度として利用可能